

牛久の味、牛久の給食 牛久の日給食



1月28日、市内小・中・義務教育学校では牛乳と調味料以外全て牛久市でとれた食材を使用した「牛久の日給食」が提供され、牛久南中学校の献立は、ごはん、牛乳、豚肉とごぼうのチュジャン炒め、牛久冬野菜の味噌汁、いもまん！でした。3年生にとっては学校で給食を食べるのも残りわずかです。牛久の恵みがたくさん詰まった給食を生徒たちはおいしそうに味わいました。また、この日は沼田市長、川村教育長が生徒たちと学校生活や趣味の話をしながら給食を楽しみました。



国道6号牛久土浦バイパス整備推進に向けた要望 3市組織団体からの要望書提出

牛久市と土浦市、つくば市の3市で組織している「一般国道6号・都市計画道路牛久・土浦線等建設促進期成同盟会（会長・安藤真理子土浦市長）」は、1月30日に、国道6号牛久土浦バイパスの整備推進を求め、古川康国土交通副大臣に要望書を提出しました。

同バイパスは全長15.3kmで、国道408号から学園東大通りまでの3.9kmと、国道6号から市道「城中・田宮線」までの1.3kmの各区間が暫定2車線で開通し、残り3区間の計10.1kmが未開通となっています。国道6号の慢性的な渋滞の緩和や交通事故減少、災害時の輸送強化のためにバイパス整備の推進を求めました。



牛久の振興・発展に貢献

民間自治功労者表彰

多年にわたり地方自治の振興発展に大きく貢献した方に贈られる「令和6年度茨城県市長会民間自治功労者表彰」において、牛久市では2人の方が受賞されました。受賞、おめでとうございます。

- 橋本 彊 様（元 刈谷行政区 区長）
- 石井 美知夫 様（元 牛久市教育委員会教育長職務代理者）

茨城県市長会自治功労者表彰式



《写真左》石井 美知夫さん 《写真右》橋本 彊さん

社会の新しい力に

いばらきチャレンジアワード奨励賞受賞

「いばらきチャレンジアワード『支え合い2024』」の表彰式が昨年11月24日に行われ、市内で活動する「任意団体みんなの制服リユースUNICLE（ユニクル）」が奨励賞を受賞し、1月17日に受賞報告のため沼田市長を表敬訪問しました。同団体の代表・巨友美さんは「子どもが卒業したら制服はUNICLEに、と定着していくようにがんばりたい」と今後の抱負を語りました。



牛久への思いの深さ競う

第10回牛久郷土かるた大会

1月26日、牛久運動公園武道館で「第10回牛久郷土かるた大会」が行われ、70人が参加しました。「うしく郷土かるた」は牛久の歴史や文化を題材にしたかるた。参加者は牛久の歴史と文化を楽しく学びながら熱戦を繰り広げました。優勝チームはこどもかるたの部は「あみあみ」、郷土かるたの部は「チーム久貝坂」でした。※大会で使用した「牛久郷土かるた」、「うしく郷土こどもかるた」は中央生涯学習センターで販売しています。



思いをギュッと詰める

下根中・ボックスアート展示会

1月21日から2月3日に、牛久シャトーで下根中学校の3年生が制作したボックスアートの展示会が開催されました。作品のテーマは「ボックスアート～私と私の町・牛久市～」で、生徒が牛久市の魅力を再認識し、生徒の郷土愛を深めることと、地域交流や地域社会の活性化につなげることを目的に制作されました。会場には箱の中の空間に牛久シャトーをはじめ、牛久の風景や四季、自身の体験が表現された、生徒たちの牛久に対する思いの詰め込まれた作品が並びました。



台湾で牛久をPR

観光イベント参加、市長表敬訪問

牛久市は1月24日から26日に台湾の台北駅で開催された県観光PRイベント「茨城美食遊楽園」に参加。台湾での茨城の認知度向上と茨城への誘客を目的としたイベントのため、当市も牛久大仏を用いたクイズをしながら、来場した方に牛久市をPRしました。また、2月11日から14日は台湾・桃園市からランタンフェスティバルへの招待を受け、沼田市長、諸橋議長、須藤副議長が同市を訪問しました。桃園市には牛久大仏を製造した会社があり、そのご縁から交流を進めています。滞在中は桃園市長を表敬訪問したほか、桃園市内の牛久大仏製造会社や台湾ランタンフェスティバルの視察を行いました。

- 1 茨城美食遊楽園のステージにて牛久市をPR
- 2 桃園市長を表敬訪問
- 3 2025台湾ランタンフェスティバルin桃園の開幕式



人里に春を告げる「ホーホケキョ」というさえずりは誰もが知っていますが、花札の「梅に鶯」の図が有名なため、緑色をしたメジロとよく間違えられます。実際のウグイスは、スズメ大のスマートな姿で、上面が薄茶色、下面が灰白色をしています。山地から低地の藪を住みかとし、なかなか姿を見ることができませんが、よく通る美しい声で、いれぱすぐにわかります。春から夏にかけて市内のあちこちで美声を聞くことができますが、昔は、夏に声を聞くことは今より少なかったようです。全国的に、里山が管理されなくなって数が増えたことで、夏に里山で繁殖するウグイスが増えたといわれています。



しぜん
大好き
～牛久の生物～
ウグイス
(鶯)
スズメ目ウグイス科

銀座で牛久シャトーのワインと歴史をPR

1月31日から2月3日まで東京・銀座のアンテナショップ「IBARAKI sense」で「日本遺産 牛久ワインフェア」を開催しました。牛久シャトー醸造ワインや日本遺産関連商品のPR、販売を行いました。

また、新商品の100%牛久市産ブドウ果汁使用発泡酒「うしく葡萄のほほ笑み」が初お披露目され、全国850点以上の応募から選ばれたラベルデザインも大好評でした。



IBARAKI sense「日本遺産 牛久ワインフェア」



うしくのひなまつり10周年!!

第10回かっぱの里 うしくのひなまつり

2月15日から中央生涯学習センター、中央図書館で「第10回かっぱの里うしくのひなまつり」が開催中です。初日の2月15日、中央生涯学習センターでは10周年記念イベントとして詩人 野口雨情の孫・野口不二子さんによる記念講演会と、牛久第一中学校混声合唱団による合唱、中央図書館ではワークショップが行われました。期間中はひなマルシェやひなあられの無料配布、市内保育園の園児たちの作品展示などのイベントが開催され、多くの家族連れが訪れました。このイベントは3月3日(月)まで開催しています。

- 1 個性豊かな創作ひな人形たち 2 初日に行われた講演会の様子
3 ワークショップを楽しむ子どもたち



しあわせをよぶ
レシピ

毎月19日は食育の日 子どもも大人も毎日食べよう、朝ごはん

長いもとアボカドのドリア

問 健康づくり推進課
(保健センター内) ☎内線1747

トロトロで滑らか、簡単に作れておいしいドリアです。「長いも」「白だし」は和食のイメージが強いですが、アボカドやチーズともよく合います。

このレシピは「食と健康の応援団」ヘルスメイト(食生活改善推進員)が作成しました。



作り方

- ① 長いもは皮をむいてすりおろす。
 - ② 卵と白だしをよく混ぜ、①に混ぜる。
 - ③ アボカドの皮をむき、一口大に切る。
 - ④ 耐熱容器に温かいごはんを入れ、アボカドのをせ、②をまわしかけ、最後にチーズのをせる。
 - ⑤ トースターでチーズがとけるまで焼く。
(焦げ目がつく前にみじん切りにした長ねぎのをせる)
- ※今回はパセリとトマトを付け合わせました。



牛久市食育推進のための野菜キャラクター
「USHIKU野菜オーケストラ」
ネギート

材料 (4人分)

長いも…………… 300g	ごはん…………… 200g
卵…………… 1個	とろけるチーズ… 100g
白だし…………… 50ml	長ねぎ…………… 1/2本
アボカド…………… 1個	

一口メモ

長いもには、カリウムというミネラルが多く含まれています。カリウムにはナトリウムを体の外に出しやすくする作用があるため、塩分の摂り過ぎを調節するのに役立ち、高血圧の予防につながります。

FMうしくうれしく放送(周波数85.4MHz)で、平日午前9時30分から「USHIKU野菜オーケストラ」レシピを放送しています!